



沿線病院とバス事業者が協力し 「バリアフリー講習会」を通じたバス利用促進

永井運輸株式会社 水野 羊平・手島 佑輔
群馬中央医療生活協同組合 西野 竜也

身体の不自由な方を対象とした「バスの乗り方教室を開催」



声掛けや、車椅子の扱いはちゃんとできているのだろうか...

運転手さんは、いつもどのように感じているのだろうか...



普段の生活において、密接な関わりが少ない。お互いに意思疎通はとれているのだろうか？という疑問

バリアフリー講習会を開催



理学療法士3名と作業療法士1名にて、車椅子の操作、障がい者とのコミュニケーション方法をバス乗務員へ講義。バスを用いて車椅子実技乗車を実施

病院会報誌に掲載

弊社乗務員(副班長)も掲載されました。

相手を理解した心遣いでより良いサービスを

永井運輸株式会社 バス事業部 業務副班長 山口範雅

バリアフリー講習会では、車いすの種類や高齢者・障がい者への配慮、見た目から推測するリスクへの備え、車いすの体験など、業務に必要なスキルや心得を学べました。

実際に車いすに乗り押ししてもらう側になると、急に押されたり持ち上げられたり、不意に動かされたりすると不安を感じます。今回、相手の立場を体験し感じた事により、声掛けをおこない、心構えをしてもらうことが安心につながる事と理解できました。

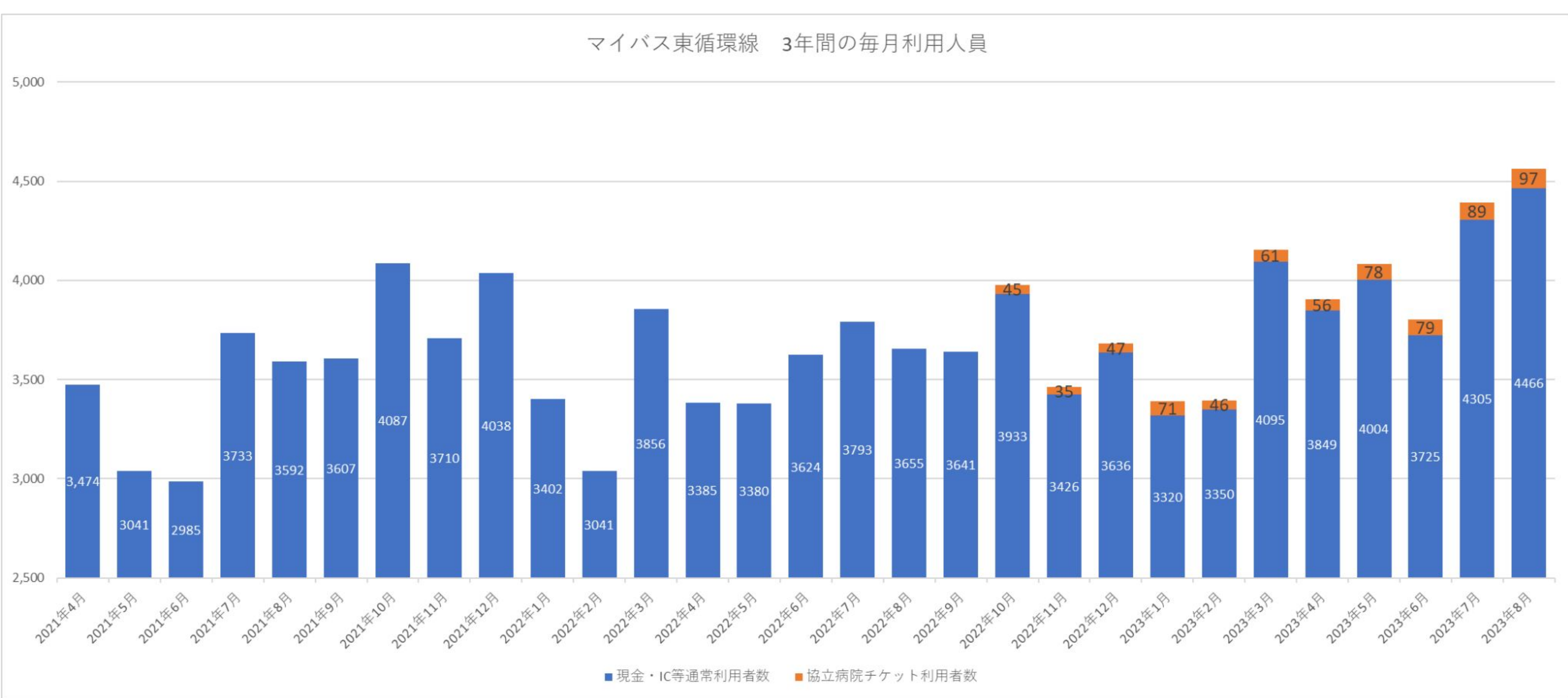
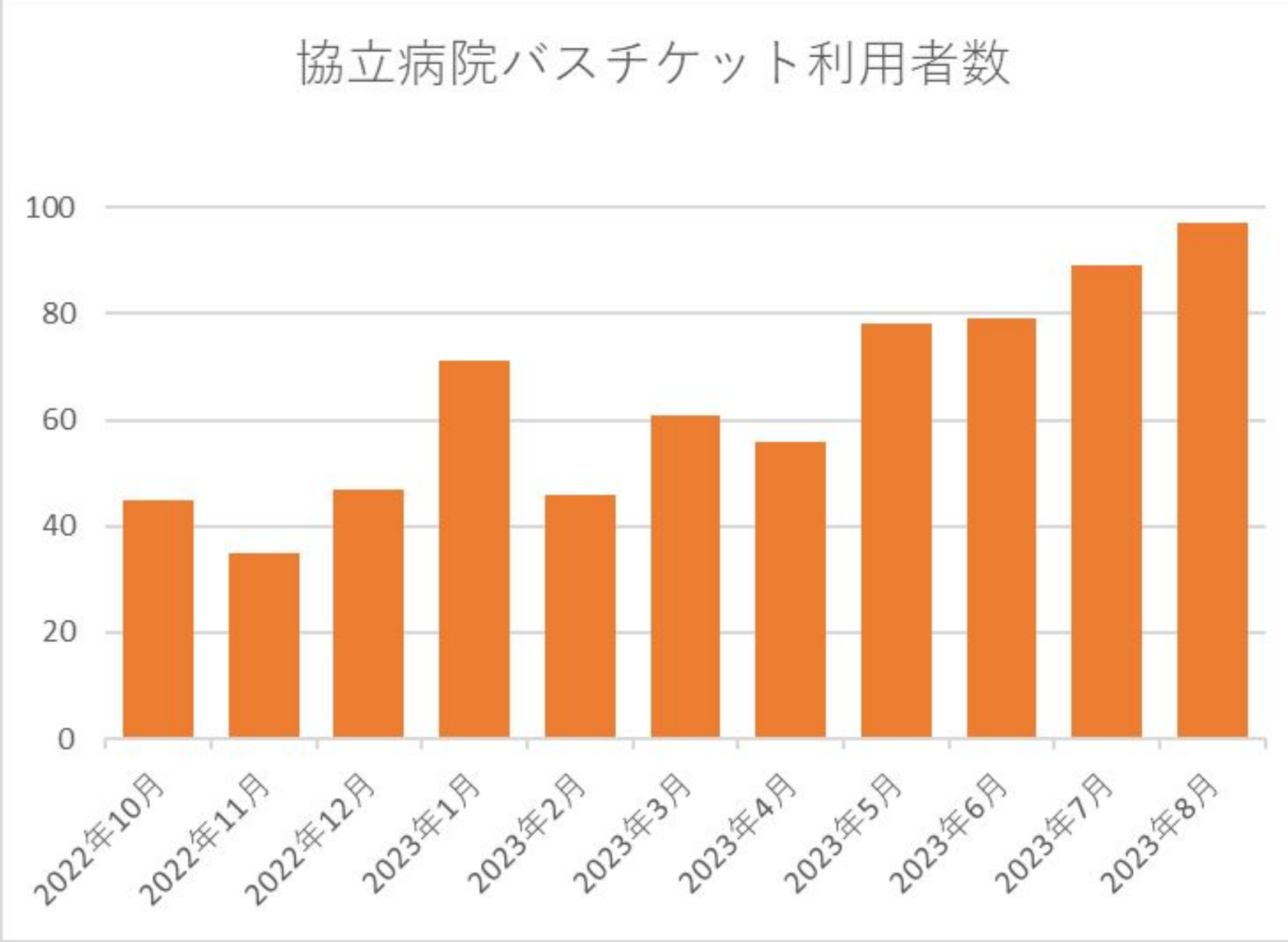
相手に寄り添った対応ができるように、今回の講習を思い出し、バスを利用したすべての方のおかけがよくなり、気軽に安心したものになるように活かしていきます。



バスを使ってもらうため、病院発行の「マイバス乗車チケット」を発行

- 病院沿線でバス運行がある。
- 乗務員は、病院利用者へのコミュニケーションについて、講義や実技を通して深く知り得た。
- もっとバスに乗っていただきたい！

- 前橋駅＝病院間の送迎車を廃止
- 病院とバス事業者との交流が増えた



結論と今後の展望

- 乗務員にとって、業務に必要な技術として様々な学習ができた。
- 病院とバス事業者との交流が増えた
- 今回の活動を通し、バスを利用しやすくするために「サイネージシステム」の設置検討があり、バスと病院利用者の利便増に直結する取り組みを一緒に考えていきたい。

※チケットは後ほど「バス運賃(1枚=1乗車均一100円)」として、前橋協立病院様へご請求させていただいています。



群馬県立女子大学「バス発車案内サイネージ」設置例



前橋工科大学バス発車案内サイネージ屋外設置例